

時発生災害

被災地支援で連携

AMDAと赤磐市が協定

国際医療ボランティアAMDA（本部・岡山）と赤磐市は21日、県内外で地震などの大規模災害が発生した際の被災地支援や、人材育成で連携する協定を結んだ。

協定書では、被災地への物資提供などで相互に協力することを確認。人材育成では、来年4月から同市職員1人をAMDAに派遣。本部で勤務し、被災地での活動にも参加する予定という。AMDAと自治体の人事交流は初めて。

山陽老人福祉センター（同市下市）で締結式があり、AMDAグループの菅波茂代表と

友実武則市長が協定書に調印。菅波代表は「人事交流でAMDAの理念やノウハウが自治体に伝わることを期待している」と述べ、友実市長は「被災地支援に貢献するとともに、市

の災害対応力の強化にもつなげたい」と話した。
AMDAと自治体による協定は備前、総社市などに続き13件目。
（伊東圭一）



協定書に調印する（右から）菅波代表、友実市長